

## ＜ 数学 ＞科 学習シラバス

科 目	数学Ⅱ	学年・類型	2年生・Ⅱ型	単位数	4単位	教科書	高校数学Ⅱ 新訂版（実教出版）	
学習の到達目標		1 式の計算と方程式、図形と方程式について理解し、基礎的な知識を身に付けさせる。 2 解法を表現・処理する技能を習熟させる。 3 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし、活用する態度を育てる。						
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 数学的な見方や考え方	C 数学的な技能	D 知識・理解				
評価の内容	数学的活動を通して、考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。	複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分積分における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考え	複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分積分において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。	複素数と方程式、図形と方程式、いろいろな関数、微分積分における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。				
評価の方法	・授業への参加姿勢や態度 ・予習や復習への取組	・定期考査	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・課題への取組				
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容	評 価 の 観 点				
				A	B	C	D	
1 学 期	4	1章 複素数と方程式 1節 式の計算	1 整式の乗法 2 因数分解 3 二項定理 4 分数式	○			○	
		2節 複素数と2次方程式	1 複素数 2 2次方程式 3 解と係数の関係	○		○	○	
	5	3節 高次方程式	1 整式の除法、2 剰余の定理と因数定理	○		○		
		4節 式と証明	2 高次方程式 1 式と証明	○	○		○	
	6	2章 図形と方程式 1節 点と座標	1 直線上の点の座標と内分・外分 2 平面上の点の座標と内分・外分	○	○		○	
		2節 直線の方程式	1 直線の方程式、2 2直線の関係 "	○		○	○	
		3節 円の方程式	1 円の方程式 2 円と直線の関係、3 軌跡	○	○	○	○	
7	4節 不等式の表す領域	1 円で分けられる領域、2 直線で分けられる領域 3 連立不等式の表す領域	○	○		○		
2 学 期	8 ・ 9	3章 いろいろな関数 1節 三角関数	1 一般角、2 三角関数 3 三角関数の相互関係 4 三角関数の性質 5 三角関数のグラフ	○			○	
		2節 加法定理/弧度法	1 加法定理 2 加法定理の応用、3 弧度法	○	○	○	○	
	10	3節 指数関数	1 指数の拡張(1)、2 累乗根 3 指数の拡張(2)、4 指数関数のグラフ	○		○	○	
		4節 対数関数	1 対数、2 対数の性質 3 対数関数のグラフ 4 常用対数	○		○	○	
	11	4章 微分と積分 1節 微分係数と導関数	1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 4 接線	○	○		○	
		12	"	○		○	○	
3 学 期	1	2節 導関数の応用	1 関数の増加・減少 " 2 関数の極大・極小 " 3 関数の最大・最小 " 関数の最大・最小の利用 "	○		○	○	
		2	3節 積分の考え	1 不定積分 " 2 定積分 " 3 面積 " 4 いろいろな図形の面積 "	○		○	○
			2学年のまとめ	"	○	○	○	○
	3			○		○	○	
				○		○	○	
	学習のポイント		予習や復習など家庭学習を充実させると、学習の効果は一層向上する。					